

平成21年度(2009年度) SSN 十大ニュース

アンケート収集 & 記事編纂: 広報部

- | | |
|--|--------------------|
| 1. HTB番組の「イチオシ」が学習部講座を取材 | 2010年2月2日 |
| 2. 文化祭 ~チャッチリーズ大人気~ | 2009年9月30日 & 10月1日 |
| 3. 会員数 500人突破 | 2009年10月26日 |
| 4. SSN将来構想検討委員会編成・検討開始(全8回) | 2009年7月-2010年3月 |
| 5. 大通公園ピアガーデン盛会 | 2009年8月4日 |
| 6. フォーラム“町田真理子 感動のシャンソン!” | 2009年6月21日 |
| 7. フォーラム“西尾正道氏 高齢者のがん対策” | 2009年11月27日 |
| 8. H21年度定期総会 神野尚文理事長の新体制スタート
(新年度体制理事・運営委員会スタート)(春の交流会:ジャスマックプラザ) | 2009年5月26日 |
| 9. クラブ活動 “源氏物語の会”発足・人気上昇中 | 2009年4月 |
| 10. 春の国内旅行“日本の美再発見・桜の名所訪問” | 2009年4月14-17日 |

順位	出来事 (開催場所)	
1	HTB番組の「イチオシ」が学習部講座を取材 2月2日夕方のHTBテレビ「イチオシ」で、SSN学習会の様子が放送されました。「学ぶシニア」というテーマで真剣に画像処理の学習に取り組む会員の姿が素敵でした。会の拠点でSSNのイチオシである学習部活動が報道される意義は大きなものです。「この会に入って人生観が変わりました」と取材に答える会員の笑顔も若々しく、HTBの真摯な取材姿勢が会員の高い評価を受けて、堂々の第一位に選ばれました。	
2	文化祭 (市民活動スペース アウ・クル体育館) SSNシニアパワーの結集である文化祭は、今年も素晴らしい作品、フラダンス、マジックなどシニアの多彩な才能を披露しました。なかでも異色なチャッチリーズの踊りは観客を魅了しました。九州日向地方の”ひょっとこ踊り”で、ちょぴりエロチックでコミカルです。狐、ひょっとこ、おかめなどの面や笛、太鼓の音楽を取り寄せ、衣装は手作りです。女性メンバー5人の特徴をとらえた振り付けは、観客の笑いを誘いました。 http://www.north.ad.jp/ssn/event/bunkasai2009/bun50/topics.cgi	
3	会員数が500人を突破 その記念すべき日は、平成21年10月26日！会員番号1008番Mさん(女性)の入会。SSNホームページを検索した問い合わせが増えていますが、テレビや新聞メディアによる紹介も大きな反響を呼んでいます。 2010年2月末現在で男女比はほぼ同数、平均年齢は68.9歳ですが、年齢ピークを細かに見ると男女の年齢中心は多少開いています。	
4	SSN将来構想検討委員会編成・検討開始(主に活動センターにて) 会員数が500名に達し更に増加が見込まれるので会員数が700名を越えた場合を想定して「将来構想検討委員会」が発足しました。「定款の見直し」「活動拠点は現状で良いか」「会費や費用の検討」ほか6項目について理事長の諮問を受け、検討結果は2010年3月に答申されます。	

5	<p>大通公園ピアガーデン盛会: (サントリーピアガーデン)</p> <p>予想を超える63名が参加。勝手連幹事一同で準備。会員Sさんのご紹介により札幌難病連様のルートを通して予約席・前売券を確保できました。そのためサントリーから難病連の活動に若干ながら助成され、難病連の担当者からSSNに対してお礼のお言葉を頂きました。受付と会計処理を担当頂いたTS様・YT様、飲食物の買付や配布でご尽力を頂いたCI様・YM様、その他会場でお手伝いいただいた方々、ありがとうございました。</p> <p>http://www.north.ad.jp/ssn/saloon/08bbsv/</p>	
6	<p>6月フォーラム“町田真理子 感動のシャンソン!”(サロン)</p> <p>北海道妹背牛町ご出身の町田真理子さん(会員村田静穂さんの実妹さん、埼玉県在住)、全国区での演奏活動並びに指導と幅広くご活躍中です。ピアノの中島由美子さんも同行くださり、息の合った演奏で私たちを魅了しました。耳になじんだおなじみのシャンソンから、ご自分の作曲された曲まで、含めて約20曲! アンコールは、弾き語りです。くでなしを粹に威勢良く! 70席をほぼ埋め尽くす大盛況のうちに幕を閉じました。</p> <p>http://www.north.ad.jp/ssn/news_event/video_news/vdeonews_09fom</p>	
7	<p>フォーラム“西尾正道氏 高齢者のがん対策”(サロン)</p> <p>国立病院機構北海道がんセンター院長の西尾正道先生のお話です。日本のがん医療の問題点を指摘し「がんの時代」をどう生きるかを、ジョークを交えながらお話してくださいました。また抗がん剤の効果は殆どなく現在のがん治療において、放射線治療が3本柱のひとつであると主張されておりました。シニアにとって大変貴重な2時間半のフォーラムでした。</p>	
8	<p>平成21年度定期総会 神野尚文理事長の新体制スタート&「春の交恒例の年次総会は多田理事長が急逝された後を引き継いだ神野理事長が2月の臨時理事会で互選されたことが報告され、今年度の事業計画ほかが審議されました。会員500名を目前としたSSNを更に発展させるためサロンの活性化と有効活用に努めたいなどの方針が示されました。夕方を待って、新入会員歓迎「春の交流会」が、近くの”ジャスマックプラザホテル”で行われました。受付で偶然引き当てたグループ席ですが、初対面でも話はすぐ弾むのはいつもの風景です。新規会員のユニークな自己紹介に拍手喝さいの楽しい集いでした。人材宝庫のSSNに又、厚み!</p>	
9	<p>クラブ活動 “源氏物語の会“発足・人気上昇中</p> <p>一人の会員の源氏物語へ寄せる思いが、SSNという輪の中で同じ思いを持つ会員への呼びかけとなり、この会は誕生しました。“クラブはみんなで作り上げ、育てて行く”の理念でスタートし、会の進歩はゆっくりですが、着実に参加会員の心に届いているようです。SSNらしさ溢れるオリジナルな古典の世界! 現代に通じる人間の心のドラマ。「源氏物語の会」は双葉の芽を出しました。みんなで水をまき、そして一緒に成長しています。講師の郷原氏による格調高く、ユーモアに富んだ内容の人気で、毎回100名近い参加者を集めるため、教育文化会館を使用しクラブ例会が開催されています。</p>	
10	<p>春の国内旅行“日本の美再発見・桜の名所訪問”</p> <p>江戸時代にタイムスリップした木曾路の宿場町、甲信越を代表する観光地13か所の名所を巡った幻想的な桜饗宴の旅でした。謙信、信玄のゆかりの地では武将の戦いに思いを馳せ、昇仙峡、白糸の滝では大自然の力に圧倒されました。山梨県身延町に観た日本最古の樹齢2千年と推定されるという「神代桜」は、樹木医や町の方たちの献身があることを知りました。</p> <p>http://www.north.ad.jp/ssn/news_event/video_news/index.html</p>	

今年度の特色ある出来事と新しい試み(社会貢献活動、事務局運営、野外フォーラム)

事務局 & 活動拠点「サロン」が充実
 “サロンは皆の居場所”の意識が定着し、いつもきちんと整頓され雰囲気が良くなりました。更に、新たにパソコン20台が整備され、PCを持参できない人も参加できる学習会が成立するようになりました。またH21年11月、大室の灯油ストーブ2台が会員のボランティアにより新品に交換され内前方1機は24時間運転。これで冬の朝一番にサロン入りしても暖かな部屋で直ぐに活動できるようになりました。



旭山公園通地区センターのパソコン講習会好評!
 2009年より始まったこの地区のパソコン講習は初心者を対象に6月・8月・11月に実施しました。講習は主講師と6名ほどのサポーターが参加者にこまめに対応したため「よく理解できた」と大変喜ばれ、主催者にはSSNの評価を高めることができました。この反応から引き続き、2010年も5月31日～週1回、全5回の講座開設を依頼されました。



「当別町地域情報化セミナー2010」で伊勢部長実践発表
 当別町の140年記念事業の一環で、SSNの活動実践報告の依頼を受け、「社会貢献活動としてのパソコン講師派遣の取り組み」を報告しました。そのほかSSNの基本理念や6つの活動について、パワーポイントで説明。70名の聴衆が熱心に耳を傾け、“SSNの会員が増えているのはなぜか?”などの質問がありました。当会への入会PRと「当別シニアネット」設立の場合は、支援を惜しまないことを強調してきました。



「ひょっとこ踊り」で老人ホームを慰問
 文化祭で人気者のチャチリーズ(5人グループ)は、11月に老人ホーム「円山溪仁会サービス」を訪問し、ひょっとこ踊りを披露しました。コミカルな踊りに意気投合し、手拍子をとる人、一緒に踊りだす人、大喝采を受けました。踊り手5人はすっかり意気投合し、“依頼があればどんどんやろうね!”と意見一致。今後益々社会貢献が期待される”チャチリーズ”です。



野外フォーラム “後志の美術館巡り”(10月)
 初めて外に出たフォーラムは、SSN・OSS・YSS連携の大人の遠足。超満員45名の参加者を乗せたバスは、紅葉の後志路を走りました。倶知安町「小川原脩の世界」 岩内町「木田金次郎美術館」 京極町「西村計雄記念美術館」画業の異なる作品群に感動し、芸術の秋を堪能しました。

